

実際に、マイ・タイムラインを作ってみよう（書き方）

● 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつからはじめるのか、考えてみましょう。

時間経過例	警戒レベル	河川の状況等	行政から発信される情報	わたしの備え		
3日前	1 準備・心構え	台風発生 	黒：気象・水象情報 青：河川事務所 緑：市 ○台風予想 ○台風に関する気象情報（随時）	○テレビ・ケータイで天気予報を確認 ○父、母の予定を電話で確認 ○子供の下校予定時間を確認 ○食料の買い出し ○防災用品をチェックし足りないものを買うに行く ○病院へ薬受け取り ○病院 電話番号 ○家の近くの危険箇所(側溝)の確認 ○ハザードマップで自宅が浸水区域かを確認 ○避難場所へのルートを確認（道路は冠水しやすいか）	<p>ポイント①：台風の規模や進路、自分たちの住まいへの影響など、対応を判断するのに必要なことを考えましょう。</p> <p>ポイント②：家の状況、家族の状況、周辺の状況など、改めて再確認しておくべきことを考えましょう。</p>	事前準備
2日前		台風接近 雨や風が強まる 	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○ハザードマップで自宅が浸水区域かを確認 ○避難場所へのルートを確認（道路は冠水しやすいか）	<p>ポイント③：長期間の避難になることも想定して、必要なもの、準備すべきものを考えましょう。</p>	
1日前	2 自主避難（注意の呼びかけ）	川の増水 水位上昇 	水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達 氾濫注意情報発表 ◇大雨警報・洪水警報 避難場所の開設準備	○親戚宅に避難の電話 氏名 電話番号 ○携帯電話の充電（携帯バッテリーも充電） ○車を安全な親せきの家に停めさせてもらう ○川の水位をネット、テレビのdボタンで確認 ○通行止め情報確認 ○ホテル・親戚宅避難の検討 ○ホテル 電話番号 ○（移動に時間のかかる人）避難場所への避難を検討	<p>ポイント④：どこに避難しますか？避難までにどのくらい時間がかかりますか？逆算してやるべきことを考えましょ</p>	避難行動の検討
半日前		水位さらに上昇 	◇暴風警報			
5時間前	3 高齢者等避難	水位さらに上昇 雨強いまま 	避難判断水位到達 氾濫警戒情報発表 高齢者等避難発令 避難場所の開設（メール、LINE、Twitter等による周知）	○メールやSNSで【高齢者等避難】発令を確認 発令が自分の住んでいる地区なら避難開始 ○ホテル、親戚宅へ避難 ○ホテル 電話番号 ○近くの高橋川が避難判断水位になったら親せき宅へ避難 ○避難場所が開設されたら避難場所へ避難を開始	<p>ポイント⑤：避難の「スイッチ」は何を設定しますか？その情報はどのように入手できそうですか？考えましょう。</p>	避難行動開始
3時間前	4 避難指示		氾濫危険水位到達（メール、LINE、Twitter等による周知） 氾濫危険情報発表 緊急速報メール（河川氾濫のおそれがある情報） 避難指示発令（メール、LINE、Twitter等による周知）	○メールやSNSで【避難指示】発令を確認 発令が自分の住んでいる地区ならすぐ避難開始 ○地区内の避難場所 ○地区センター（近い） ○小学校（離れているが川の近くを通らない） ○氾濫危険水位到達 川の近くなったらただちに避難 離れていれば垂直避難検討	<p>ポイント⑥：ここまで全員避難を完了していなければなりません。継続した情報の入手についても考えましょう。</p>	
0時間	5 緊急安全確保	川の水が氾濫	氾濫が発生 氾濫発生情報発表 ◇大雨特別警報 緊急安全確保発令	○警戒レベル5【緊急安全確保】情報を受信。この段階で避難はできないため、警戒レベル4が出たら必ず避難		安全確保